



美土乙第92号  
平成19年5月9日

国土交通省道路局長 殿

美浜町長 山口治太郎



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のあった標記の件について、別紙  
のとおり回答いたします。

## 今後の道路政策や道路整備・管理について

道路は、国民生活の向上と国民経済の健全な発展を図り、社会活動を支える最も基本的な施設であるため、その整備は地域住民の生活に即し多くの期待が寄せられています。高齢化、少子化が進展する中、活力ある地域づくりを推進するには、環境問題を考慮した道路整備がより一層必要となっています。

美浜町の国道27号周辺は、美しい海岸、緑豊かな湖沼、山地など、若狭湾国定公園の自然環境に恵まれた観光地です。関西・中京方面から毎年多くの観光客が訪れ、美浜町を縦貫する国道27号は、古くから地域住民にとって通勤、通院など、日常の暮らしを支える生活幹線道路であるとともに、若狭地方の地域経済の発展と観光資源の開発に重要な役割を担う幹線道路です。

ところが、平成7年の阪神大震災以降、大型車両の交通量が増大し、通勤時間、及び観光シーズンの交通渋滞が蔓延化し、地域住民の基本的な生活に著しく支障をきたしています。

美浜東バイパスは、平成15年9月に一部暫定2車線が供用開始され、現在は美浜町佐柿地区において工事が進められており、来年の全線開通時には美浜町佐柿地区以東の交通渋滞はある程度解消されるものと考えられます。しかし美浜町佐柿地区以西については、通勤時間及び観光シーズンの渋滞が解消されるとは考えられません。また、この開通により国道27号から梅街道に流れていた車両が美浜東バイパスに集中することから、なお一層の交通渋滞が懸念されます。

また、敦賀半島における美浜町側においては、県道佐田竹波敦賀線が唯一の生活幹線道路です。

この道路は、日本海沿線特有のカーブが多く狭隘な道路であり、

夏期には観光客等による交通渋滞により地域住民の生活に支障をきたしています。しかも、原子力発電所立地に伴う災害時の緊急避難道路としての役割を担っており、現状では、決して安心できるものではありません。沿線住民の安全で安心できる日常生活の確保が必要不可欠です。

以上の点から、「重点化を進める上で特に優先度の高い政策」、「効率化を徹底的に進める上で重視すること」は下記のとおりです。

1. 通勤、通院などの日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備。
2. 地域活性化のため、都市や物流拠点を結ぶ主要道路の整備及びそれに接続するアクセス道路の整備。
3. 国際交流・体験型観光等、若狭湾観光の発展に資する道路ネットワークの形成
4. 災害時緊急避難道路の整備。
5. 上記事業を効率的に進め、供用開始を早めるための、道路財源の適正確保。
6. 道路施設の効率的・効果的な運用を図りコスト縮減の取組強化。